

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	ふるさと創生館運営事業			
予算科目	10 款 5 項 5 目			
総合計画での位置付け	教育・文化・スポレクの振興～うるおいと生きがいのひとづくり～ 生涯学習の推進			
所管課情報	担当課:	社会教育課	電話番号(内線):	737
記入者情報	所属長:	武智 亨	担当責任者:	田中 敬文
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】 平成 19 年度 【開始年度】 設定なし			
事業の対象	一般市民			
根拠法令等	伊予市ふるさと創生館設置条例			
事業の目的	心豊かなまちづくり及び人づくりのための各種事業活動の利用に供する。を目的とする。			
事業の内容	心豊かなまちづくり及び人づくりのための各種事業活動の利用に供する。めの研修及び交流事業、伝統文化の保存、伝承及び創作、特産品及び県産品の展示などを行う。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)				
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	4,610	5,171	1,739	4,701
	人件費	488	636	318	636
	合計	0	5,807	2,057	5,337
人件費 内訳	人工数	0.06	0.08	0.04	0.08
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	488	636	318	636
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	453	400	213	457
	一般財源	4,645	5,407	1,844	4,880

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
施設利用者数	人	13482	12000	6000	12758
施設使用料金	千円	453	400	213	457

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
	5,289	5,000	5,000	5,000	5,000	25,289

成果指標				
成果指標	施設利用者数を活用頻度とする。			
指標設定の考え方	施設利用者数を活用頻度とする。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	目標27年度
目標	12000	12000	12000	0
実績	13482	12758	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	平成28年度には、図書館・文化ホール等施設の建設によって中央公民館が取り壊されるため、利用者の大幅増が見込まれ調整がむすかしくなってくる。他の類似施設との調整が不可欠であり、早いうちから検討を進めていく必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	館の管理・運営を通じて利用者の自主活動を支援していく。また、利用団体の増加に伴う協議も今後必要になってくる。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題